

# 「中国ブロックにおける社会資本整備重点計画」の概要

平成28年3月

# 『広域地方計画』と『地方ブロックにおける社会資本整備重点計画』の関係

- 『広域地方計画』は、対流促進型国土の形成に向けて、各広域ブロックの将来像や地域戦略等について示すもの。
- 『地方ブロックにおける社会資本整備重点計画(地方重点計画)』は、『広域地方計画』と調和を図り、各地方においてストック効果の最大化に向けた取組など、社会資本整備の重点事項等について示すもの。

	広域地方計画 ～長期的な広域ブロックづくりの指針～	地方ブロックにおける社会資本整備重点計画 ～地方ブロックにおける社会資本整備の具体的計画～
目的	新たな国土形成計画(全国計画)が目指す「対流促進型国土」の形成に向けて、広域ブロックにおける <u>国土の利用、整備及び保全を推進するための総合的かつ基本的な計画</u> として定めるもの。	社会資本整備重点計画に基づき、各地方の特性に応じて社会資本を重点的、効率的、効果的に整備するため、広域地方計画と調和を図り、地方ブロックにおける <u>社会資本整備の具体的な計画</u> として定めるもの。
計画の対象	<u>国土の利用、整備及び保全に関する</u> 府省にまたがる <u>施策全般</u>	道路、空港、港湾、下水道、河川等の <u>社会資本整備事業</u>
計画期間	今後 <u>概ね10年間</u>	<u>H32年度までの約5年間</u>
対象地域	<u>全国8ブロック</u>	広域地方計画の8ブロックに北海道と沖縄を加えた <u>全国10ブロック</u>
根拠法等	国土形成計画法 第9条 国土交通大臣は、次に掲げる区域(以下「広域地方計画区域」という。)について、それぞれ国土形成計画を定めるものとする。【略】 2 前項の国土形成計画(以下「広域地方計画」という。)【略】	社会資本整備重点計画(閣議決定) 第2章第6節 地方ブロックに社会資本整備重点計画の策定 【略】本重点計画に基づき、各地方の特性に応じて重点的、効率的、効果的に整備するための計画として、国が地方ブロックにおける社会資本整備重点計画を策定する。【略】
計画に盛り込む内容(案)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国土の形成に関する方針</li> <li>○国土の形成に関する目標</li> <li>○目標を達成するために一の都府県の区域を越える広域の見地から必要と認められる主要な施策(広域プロジェクト) <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ハード・ソフト一体となった施策パッケージ</li> <li>◇広域プロジェクトを支える必要不可欠な広域性のある事業の中から代表的な事業を記載</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現状と主要課題</li> <li>○目指すべき将来の姿と社会資本整備の基本戦略</li> <li>○社会資本整備の重点目標とプロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>◇プロジェクト毎に「課題と目指す姿」「重点施策」「指標」「主要取組」を一連のストーリーとしてとりまとめ</li> <li>◇主要取組として個別事業に加え「賢く使う取組」「集約・再編」も記載</li> <li>◇取組の時間軸を明確化し、ストック効果を見える化</li> </ul> </li> </ul>

# 中国ブロックにおける社会資本整備重点計画の概要《計画期間：平成32（2020）年度までの約5年間》

- 「加速するインフラ老朽化」、「広島土砂災害など激甚化する気象災害」、「中山間地域等の集落機能の維持」、「東アジア等と近接する地理的優位性を活かした競争力強化」など、喫緊の課題に対応。
- 「戦略的メンテナンス」、「激甚化する災害にも対応する地域防災力強化」、「都市と中山間地域等の持続可能な地域社会の形成」、「産業集積、地域資源を活かした持続的な経済成長の支援」などの基本戦略に基づき、中長期的な見通しを持った社会資本整備に取り組む。

## 中国ブロックの社会資本整備の基本戦略

### (1) 集約・再編を含めた既存施設の戦略的メンテナンス

【主要課題】  
・社会資本の老朽化と増大する維持管理コスト

- メンテナンスサイクルの構築
- 中長期的なトータルコストの縮減・平準化
- 民間ノウハウ、人材確保・育成、新技術の開発・導入
- 集約・再編による社会資本規模の適正化



### (2) 安全安心インフラによる激甚化する災害にも対応する地域防災力強化

【主要課題】  
・広域災害を踏まえた危機管理や土砂災害等の大規模災害対応が必要

- 大規模・広域災害への防災・減災、他ブロックへの迅速な復旧支援
- 広島土砂災害など激甚化する気象災害への対応
- 日常的な安全安心のため、交通事故等の抑止



### (3) 生活インフラによる都市と中山間地域等の持続可能な地域社会の形成

【主要課題】  
・中山間地域等の集落機能の維持に対応が必要  
・人口減少に対応した持続可能な都市の再構築が必要  
・経済発展と自然が共生した環境負荷低減の対応が必要

- 多極分散型の都市構造である中国ブロックの発展を支えるコンパクト＋ネットワークの形成
- 中山間地域等において、「小さな拠点」の形成とそれを支える道路ネットワーク整備
- ユニバーサル社会の実現
- 環境と産業・生活が調和した地域づくり



### (4) 成長インフラによる産業集積、地域資源を活かした持続的な経済成長の支援

【主要課題】  
・東アジア等と近接した優位性を活かした競争力強化が必要  
・地域固有の資源を活かした地域づくりと観光振興が必要

- ものづくり産業の国際競争力、近接する東アジア等との交通基盤を強化するため、国際バルク戦略港湾や日本海側拠点港の港湾インフラの整備・強化
- 高規格幹線道路等の基幹交通ネットワークの強化
- 世界遺産や歴史的街並み、日本海・中国山地・瀬戸内海の自然等の地域資源を活かした観光の振興に加え、クルーズ船受入環境改善や既存空港の機能強化



### (5) 社会資本整備の生産性を高める生産管理システムの強化

### (6) 社会資本整備を支える現場の担い手・技能人材に係る構造改革等

# 重点目標1:社会資本の戦略的な維持管理・更新を行う

- 予防保全を基軸とするメンテナンスサイクルの構築による既存施設の安全性の確保
- 計画的な修繕・更新等による中長期的なトータルコストの縮減・平準化を戦略的に実現
- 民間ノウハウ、人材確保・育成、新技術の開発・導入等によるメンテナンスの着実な実施

## 1-1:メンテナンスサイクルの構築による安全・安心の確保とトータルコストの縮減・平準化の両立

・ 予防保全を基軸とするメンテナンスサイクルを構築し、個別施設の長寿命化計画の策定を推進するとともに、計画に基づく長寿命化対策によるトータルコストの低減を図るなど、社会資本の戦略的な維持管理を実施する。

### 重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)

- 個別施設ごとの長寿命化計画(個別施設計画)の策定率
- 【各施設分野において100%を目指す】

### 【具体事例】

#### 河川管理施設における長寿命化計画の策定

- ・ 限られた予算で多数の施設を健全に維持するため、長寿命化計画を策定しコストの平準化を行う。
- ・ 長寿命化計画策定に際し、新技術の導入・整備の集約化・整備時期の平準化を行いトータルコストを縮減する。



防潮水門の巻き上げ機の更新(岡山県)

### 【具体事例】 老朽化・長寿命化対策

#### 道路施設

- ・ 主な損傷: 床版の損傷、防食機能の劣化等
- ・ 補修内容: 断面修復工(塩分吸着材による高防錆型断面修復)、表面保護工、塗装工等



一般国道54号(細野橋)(広島県広島市)

#### 空港施設

- ・ 滑走路及び誘導路について、舗装の経年劣化による強度低下やひび割れが発生。航空機の安全運航を維持するため、老朽化した舗装の補修を実施。



舗装表面に経年劣化によるひび割れが発生  
広島空港(広島県三原市)

#### 港湾施設

- ・ 老朽化により港湾機能に支障が生じないよう、効率的・戦略的な港湾施設の老朽化対策を実施。



老朽化しエプロンに亀裂や段差が発生  
呉港川原石地区岸壁(広島県呉市)

## 1-2:メンテナンスをはじめとする社会資本整備を支える現場の担い手・技能人材の確保・育成、現場の生産性向上

- ・ 社会資本の維持・管理や災害時における応急復旧活動など地域を支える担い手の育成・確保を図るとともに、産学官との連携を強化し現場の生産性向上を図る。

### 【具体事例】 道路構造物のメンテナンスに関する道路構造物実務者研修、その他点検講習会の実施

- ・ 地方公共団体管理の道路橋において、橋梁点検技術の習得と橋梁保全に関する意識の高揚を図るため、橋梁点検現場実習を核とした実践的な講座を実施。



橋梁保全実践講座の実施状況

橋梁保全実践講座の開催(鳥取県東伯郡北栄町)

### 【具体事例】

#### 中国地方建設技術開発交流会による普及・活用促進

- ・ 産学官の新技術・新工法等の普及、活用を図るための技術交流を目的に、中国地方建設技術開発交流会を開催。  
建設技術に関する発表会として、平成9年度から開催し、平成27年度までに延べ88回開催。



中国地方建設技術開発交流会での技術発表の様子

# 重点目標2:災害特性や地域の脆弱性に応じて災害等のリスクを低減する

- 南海トラフ地震等の大規模・広域災害に対して、ブロック内の防災・減災及び他ブロックへの復旧・復興支援の迅速かつ円滑な実施
- 広島土砂災害など激甚化する気象災害に対応した地域社会の安全を確保するための対策の推進
- 日常的な安全安心のため、人命を守ることが最優先であるという認識の下、陸・海・空の交通事故等の抑止に資する取組の重点化

## 2-1:南海トラフ地震等の大規模地震の発生に備えた地震・津波対策の推進

・南海トラフ地震等の大規模な被害が想定される地震・津波に対して、国土強靱化の理念を踏まえ、中国ブロックの物流ネットワークの代替性・多重性の確保のため、公共土木施設の耐震化を推進するとともに、ハード・ソフト一体となった防災・減災対策を推進する。

### 重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)

○公共土木施設の耐震化率等  
 【災害時における海上からの緊急物資等の輸送体制がハード・ソフト一体として構築されている港湾(重要港湾以上)の割合:H26年度 0% → H32年度 87% 等】等

### 【具体事例】 境港竹内南地区耐震強化岸壁整備

・耐震強化岸壁を整備することにより、震災時も同施設を利用する船舶の寄港が可能となり輸送機能を維持。



境港竹内南地区(鳥取県境港市)

## 2-2:激甚化する土砂災害等の気象災害に対するリスク低減

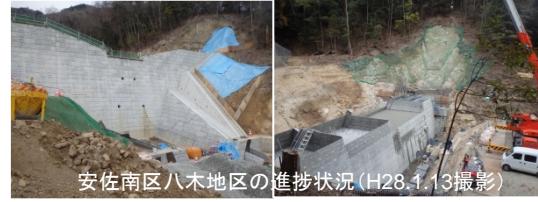
・平成26年8月豪雨による広島土砂災害や平成27年9月関東・東北豪雨の教訓を踏まえ、要配慮者利用施設・防災拠点を保全するための土砂災害対策や人口・資産が集中する地域等における水害対策等により、激甚化する気象災害に対してハード・ソフト一体となった総合的な防災・減災対策を推進する。

### 重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)

○人口・資産集積地区等における河川整備計画目標相当の洪水に対する河川の整備率  
 【河川の整備率(国管理):H26年度 77% → H32年度 81%】  
 ○要配慮者利用施設、防災拠点を保全し、人命を守る土砂災害対策実施率  
 【砂防:H26年度 約39% → H32年度 約43%】等

### 【具体事例】

**広島西部山系直轄特定緊急砂防事業**  
 ・平成26年8月豪雨において、広島市安佐南区・安佐北区を中心に、土砂災害による甚大な被害が発生。土砂災害による被害の発生を防止し、土石流から人命や資産等を保全するため、砂防堰堤等を集中的に整備。



### 【具体事例】斐伊川河川改修事業

・斐伊川水系の大橋川は、松江市の中心市街地が浸水するなど、過去に甚大な被害が発生。このため、堤防整備等を実施し、早期に安全性の向上を図る。



## 2-3:災害発生時のリスクの低減のための危機管理対策の強化

・大規模な地震や津波、原子力発電所において事故が発生した場合等による広域災害が発生した場合に他ブロックとも連携しTEC-FORCEを派遣するなど、応援・救援体制の整備を図る。さらに、国と市町村が協力し避難勧告に着目したタイムラインの策定を推進する。また、引き続き建設業の事業継続計画(BCP)の策定を推進するとともに、地方公共団体や企業等と連携した防災訓練を推進し、自助・共助による地域防災力の向上を図る。

### 重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)

○TEC-FORCEと連携し訓練を実施した県数【H26年度 0県 → H32年度 5県】等

### 【具体事例】

災害に備えた総合的な訓練実施(総合防災訓練など)

・関係機関相互の協力・連携の強化や地域住民の防災意識の高揚を図ることを目的に地方公共団体とTEC-FORCEなどが連携し、総合的な訓練を実施。



関係機関による災害対応に関する調整 (岡山県岡山市) 土のう積みの実施 (岡山県岡山市) TEC-FORCEによる被災状況調査

## 2-4:日々の暮らしの安全を守る交通安全対策等の推進

・人命を守ることを最優先に、交通事故の無い社会を目指すため、幹線道路等における事故抑止対策や通学路交通安全プログラム等に基づき、安全な通行空間を確保する。

### 重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)

○道路交通における死傷事故の抑止【生活道路におけるハンプの設置等による死傷事故抑止率:H32年 約3割抑止(H26年比)】

### 【具体事例】

一般国道2号西大寺中野IC改良

・合流部は狭く、信号機制御で本線に合流する形式になっていることで、信号機付近で追突事故が集中して発生。  
 ・合流部の加速車線を最大限確保した上で信号機を撤去し、合流形式を変更。



一般国道2号 西大寺中野IC改良(岡山県岡山市)

# 重点目標3:人口減少・高齢化等に対応した持続可能な地域社会を形成する

- 多極分散型の都市構造である中国ブロックの持続的な発展を支える、重層的かつ強靱なコンパクト+ネットワークの形成
- 中山間地域等において、生活サービス機能を集約した「小さな拠点」の形成や「小さな拠点」を支える道路ネットワーク整備の推進
- 誰もが安心して快適に生活できるユニバーサル社会の実現
- 環境負荷低減、自然環境保全等による環境と産業・生活が調和した地域づくりの推進

## 3-1:コンパクト+ネットワーク化による都市機能の維持・確保

・活力ある都市の維持のため、コンパクトシティの形成を図るとともに、高次の都市機能や生活サービスを確保するため、連携中枢都市圏の形成を支える道路ネットワーク整備や公共交通機能の強化を推進する。  
**重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)**  
 ○持続的な汚水処理システム構築に向けた都道府県構想策定率【H26年度 0% → H32年度 100%】

### 【具体事例】広島駅自由通路等の整備

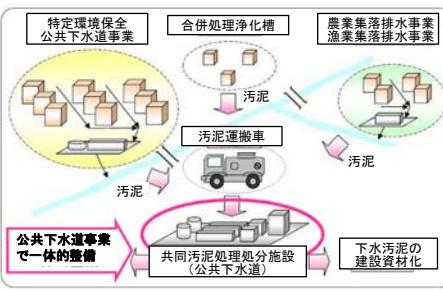
・広島駅南口B、Cブロック市街地再開発事業等による都市機能強化に併せて、広島駅周辺地区の「活力とにぎわい」を一層高め、歩行者の回遊性向上を図るため、広島駅自由通路等を整備。



広島駅自由通路イメージ図

### 【具体事例】雲南広域連合汚水処理施設共同整備事業(島根県雲南市)

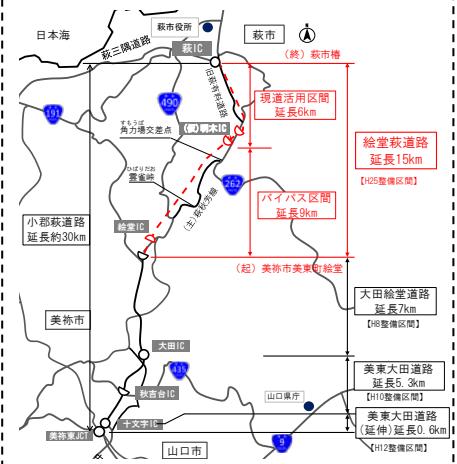
・公共下水道、農業集落排水や浄化槽から発生する汚泥を一体的に公共下水道事業として処理できる汚水処理施設共同整備事業により、広域化、共同化によるコスト削減を図る。



汚水処理施設共同整備事業イメージ図

## 3-2:「小さな拠点」の形成等による中山間地域等の居住環境の向上や生活サービスの充実

・地域の合意に基づき生活サービスや地域活動の拠点を歩いて動ける範囲に集めた「小さな拠点」の形成や空き家・「道の駅」等の活用により、生活サービス機能の集約化を図るとともに、地域の実情に応じた公共交通のネットワークの再構築及び都市と中山間地域等を結ぶ幹線道路等のネットワークや地域内の生活道路等の整備を推進し、中山間地域等における居住環境の向上を図る。



【具体事例】小郡萩道路(一般国道490号絵堂萩道路)(美祿市・萩市)  
 ・地域高規格道路小郡萩道路の一部を構成する延長15kmの道路であり、地域の安心・安全の確保や定時性等を向上させ、地域の生活環境の向上を図る。

## 3-3:安心して生活・移動できる空間の確保 (バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進)

・駅や旅客ターミナルなどの交通結節点、都市公園などの公共空間及び住宅・建築物等におけるバリアフリー化の取組を促進し、ユニバーサル社会の実現を目指す。  
**重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)**  
 ○都市公園における園路及び広場、駐車場、便所のバリアフリー化率  
 【便所:H25年度 35% → H32年度 45% 等】

### 【具体事例】広島市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業

・バリアフリー化対応便所への改築及びバリアフリー化された便所の新設を市域のバランスを図りながら進め、市民が安全で安心して利用できる都市公園の整備を図る。



薬師が丘第3公園 (広島市佐伯区)

### 【具体事例】一般国道188号(柳井電線共同溝)

・電線類を地中化することにより、安全で快適な通行空間の確保、震災時におけるライフラインの安全性の確保を図る。




現況写真

電線共同溝(特殊型) 電線共同溝(管路型)

## 3-4:瀬戸内海や日本海、中国山地等の豊かな自然環境の保全と良好な景観、都市空間の形成

・瀬戸内海や日本海、中国山地等の豊かな自然環境の保全・再生を図るとともに、良好な水循環の維持・回復を図る。また、個性的な歴史景観や美しい都市景観、田園・集落などの落ち着いた景観など、中国ブロックの特色ある優れた景観の保全を推進する。  
**重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)**  
 ○景観計画に基づき取組を進める地域の数  
 【H26年度 32団体 → H32年度 46団体】等

### 【具体事例】萩市集約促進景観・歴史的風致形成推進事業

・歴史的な景観や文化的価値の高い旧明倫小学校について、保存・整備に取り組む。



旧明倫小学校

## 3-5:経済の持続的発展と自然との共生を両立した低炭素・循環型社会の実現

・低炭素社会・循環型社会の形成のため、交通容量拡大策や既存道路を賢く使う取組による渋滞解消、都市のコンパクト化とネットワーク整備による輸送の省エネ化、下水汚泥バイオマス等の再生可能エネルギーの導入、自転車移動等を促進する。  
**重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)**  
 ○下水汚泥エネルギー化率  
 【H25年度 約28% → H32年度 約45%】

### 【具体事例】芦田川浄化センター下水汚泥固形燃料化事業

・下水汚泥の資源化を促進するとともに温室効果ガスの削減による地球温暖化防止のため、下水汚泥から固形燃料化物を製造し、燃料として有償で供給する事業を実施。



固形燃料化施設

汚泥受入棟

# 重点目標4: 民間投資を誘発し、経済成長を支える基盤を強化する

- 臨海部を中心に立地するものづくり産業の国際競争力や東アジア等と近接する日本海側の交流基盤の強化
- 高規格幹線道路のミッシングリンク解消等による基幹交通ネットワークの強化
- 4つの世界遺産や重要伝統的建造物群保存地区等の歴史的街並み、日本海・中国山地・瀬戸内海の自然等の魅力ある地域資源を活かした観光振興による地域活性化に加え、クルーズ船受入環境改善や既存空港の機能を強化

## 4-1: ものづくり産業の集積や地理的な優位性を活かした国際競争力強化のための物流・人流ネットワーク基盤整備

・ものづくり産業などグローバル産業の国際競争力強化や東アジア等との交流拡大に資する、高規格幹線道路や国際・国内物流ターミナル等の物流・人流機能ネットワーク基盤整備を推進する。

### 【具体事例】山陰道整備

- ・一般国道9号の現道部では、通過車両と生活車両が混在し、重大事故や事故に伴う渋滞が発生するなど、地域の経済活動に多大な支障をきたしている状況。
- ・主要都市間の所要時間を短縮し、地域間の人・物の交流が活発となり、地域経済が発展していくため、山陰道の整備を推進。



### 【具体事例】徳山下松港国際物流ターミナル整備事業 (新南陽地区、徳山地区)

・国際バルク戦略港湾である徳山下松港は、船舶の大型化に対応した航路・泊地の水深不足が課題。大型貨物船での効率的な輸送に対応するため、国際物流ターミナルの整備を推進。



徳山地区 (山口県周南市)

### 【具体事例】広島港宇品地区ふ頭再編改良事業

・背後圏の自動車関連産業の効率的な海上輸送や岸壁の老朽化・耐震強化対策のため、ふ頭再編を実施。



宇品地区 (広島県広島市)

## 4-2: 世界遺産、瀬戸内海や日本海等の中国ブロック固有の地域資源を活かした観光振興

・日本海、中国山地、瀬戸内海とそれをつなぐ河川などの豊かな自然や4つの世界遺産、歴史的風致、文化的資源を活かした観光まちづくりとそれらを結んだ広域観光を支える交通ネットワークの活用・強化や訪日外国人旅行客の増加に向けたクルーズ振興等を推進する。

### 重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)

○水辺の賑わい創出に向け、水辺とまちが一体となった取組を実施した市区町村の割合【H26年度 28% → H32年度 50%】

### 【具体事例】中国地方の「道の駅」への無料無線LANの整備

・直轄国道の道の駅において、情報提供の取り組みとして、道路交通・気象・災害・地域情報等を提供する、道の駅SPOTを整備。



### 【具体事例】岩国港新港地区既存施設の改修

・既存岸壁の防舷材、係船柱の改修を行い、14万トン級のクルーズ船が寄港可能な受入体制を整え、大型クルーズ船の誘致を行う。



岩国港新港地区 (山口県岩国市)

係船柱改修イメージ

### 【具体事例】旭川水系総合環境整備事業

・地域との合意形成を図り、自然環境の保全に配慮しながら、地域特性を活かした水辺整備を行い、水環境の整備とともに水辺空間の利用を推進。



旭川整備イメージ (岡山県岡山市)